

平成29年度

全国高校野球OBクラブ連合総会 議事録

日 時 2017年11月10日(金曜日) 13:30~16:00

場 所 ホテルヒューイット甲子園・鳴尾の間(1階)

議 題

- 1) 平成29年度全国高校野球OBクラブ連合総会事業報告
 - 資料1-1(1): 全国高校野球OBクラブ連合加盟校一覧表
 - 資料1-1(2): マスターズ甲子園2017本大会プログラム
 - 資料1-2: 全国高校野球OBクラブ連合2017年度途中決算報告
 - 資料1-3: マスターズ甲子園実行委員会2017年度途中決算報告
- 2) マスターズ甲子園2018-2019シリーズ
 - 資料2-1(1): 2018-2019シリーズ(申請枠)
 - 資料2-1(2): 2018-2019シリーズ(抽選会獲得票数)
 - 資料2-1(3): 2018-2019シリーズ(概況)
 - 資料2-2: マスターズ甲子園2018本大会計画
 - 資料2-3: 全国高校野球OBクラブ連合2018年度予算案
 - 資料2-4: マスターズ甲子園実行委員会2018年度予算案
- 3) 2020年以降のシリーズ計画案について
 - 資料3-1: 全国高校野球OBクラブ連合情報
 - 資料3-2: 2020年以降シリーズ(案)
- 4) 次期(2018-2019)理事選出案について
 - 資料4-1: 役員・理事選出案
- 5) その他
 - マスターズ甲子園2018-2019シリーズ申請枠確定抽選会

○定刻より全国高校野球OBクラブ連合 長ヶ原 誠 理事長(以下、理事長と称す)の司会で、平成29年度総会開催のあいさつを行い総会を開催した。

- 1、全国高校野球OBクラブ連合 多湖 隆司 会長挨拶。
 - マスターズ甲子園2017大会も素晴らしい大会にする為に皆様の協力をお願いしたい。皆さんで協力して成功させまじょうと陳べられた。
- 2、定足数の確認。
 - 理事長より、加盟都道府県40、総会出席25、委任状受理7、欠席・委任状なし8、との報告で、総会出席者25であるので、全国高校野球OBクラブ定款30条の総数の3分の1以上の出席があり、本総会は成立するとの報告があり承認された。
- 3、議長選出。
 - 理事長より自薦・他薦により推薦を求め、東京都・酒井様より理事会一任との事で、

理事会より高山理事（神奈川県）（以下、議長と称す）を議長として選出し承認した。

4. 議題確認。

議長が席に着き議題の確認をして議事進行に入る。

○議 題

1. 議題1、平成29年度全国高校野球OBクラブ連合総会事業報告

○資料1-1（1）：全国高校野球OBクラブ連合加盟一覧表

資料1-1（2）：マスターズ甲子園2017本大会プログラム

理事長より11月10日現在、40都道府県619校の加盟であり、今年度の新規加盟都道府県は、北海道、長野県・愛知県・和歌山県の4道県が新規加盟し、今後も何県かの加盟が予定される事と、2017予選大会は16リーグ379校の参加で地方予選大会が開催されたとの報告につづき、大会当日の天候が心配されるので、雨天順延日の確認と当日6時30分に大会運営の決定と1日目の中止の時は予備日に組み込まれ、2日目に開会式を開催、予備日に閉会式を行う事の説明と、今回大会の出場チームの説明及び、総出場選手は756名と、甲子園キャッチボール、ボランティアスタッフの人数等の説明があり、ガイドブックの15ページに掲載されている、桐蔭学園小島様、高崎商業時澤様、大宮工業・埼玉県役員石山様の掲載説明を行い承認された。

○資料1-2：全国高校野球OBクラブ連合2017年度途中決算報告

理事長より収入合計5,450千円（新規加盟460千円・会費4,990千円）支出は、マスターズ甲子園補助金3,940千円、連合運営費等1,050千円で残り460千円（新規加盟費）は積立金に振替するとの報告があり承認された。

○資料1-3：マスターズ甲子園実行委員会2017年度途中決算報告

理事長より収入21,341,884円、で内訳は、連合補助金（3,940千円）、参加料（8,000千円）、キャッチボール（1,060千円）、共催・協賛金（5,000千円）、広告・寄付・助成金（1,260千円）、収益金（1,980千円）であり、支出合計は21,171,719円で内訳は、球場費（9,750千円）大会運営費等（11,251,554円）で170,165円の次年度繰越金の予定との報告で承認された。

2. 議題2、マスターズ甲子園2018-2019シリーズ

○資料2-1（1）：2018-2019シリーズ（申請枠）

資料2-1（2）：2018-2019シリーズ（抽選会獲得票数）

資料2-1（3）：2018-2019（概要）

理事長より2018-2019年度の開催計画については前回総会に於いて承認して頂いた通りに開催する事との説明で、2018リーグの16枠は、今回新規加盟（北海道・長野県・愛知県・和歌山県・4リーグ）は優先的確定で、残り12枠を申請枠申請の23リーグから決定するが、5リーグは2019年シリーズ

申請のために18リーグによる抽選で12リーグを抽選により決定するとの説明と、抽選方法は、まず新規加盟4道県が先に当該チームが対戦しない様に抽選を行い、次に2018年度申請枠に申請した18リーグにより、加盟校数に勘案した抽選票と高野連加盟校数に対する全国高校野球OBクラブ連合加盟校数の60%以上1票を追加した票数で行い、当選したリーグが何日目、何試合目、ベンチ側を決定する事を説明して、決定しなかった6リーグと2019シリーズに申請した5リーグの11リーグが2019シリーズの出場が確定して、残り5枠を今後の新規加盟県及び追加枠にて決定して、対戦日時等は次回総会で決定する事を説明した。

*質疑応答

○徳島県浅山様より2019年度の追加枠の現時点での状況を教えて頂きたいとの質問。

理事長より資料3-1の説明を行い予選リーグ設立準備をしている所が14府県あるので現状から考えると、2年シリーズは最終シリーズと思われる事を説明して承認された。

○資料2-2：マスターズ甲子園2018本大会計画

理事長より大会実施日の件で甲子園球場との事前の打ち合わせで、2018年度は11月10日・11日で予備日は12月6日の予定で、決定は2018年3月初旬になるとの事で、その他の事は例年通りとの説明で正式決定になった時点で再度報告させて頂く事と、2018年は全国高等学校野球選手権大会が100回大会を迎え、全国高校野球OBクラブ連合としても全国高等学校野球連盟対して協力出来る事はさせて頂く考えであり、たとえばキャッチボールの支援等、高野連からの要請を踏まえて各都道府県との連絡を密にして対応して行きたい事の説明があり承認された。

○資料2-3：全国高校野球OBクラブ連合2018年度予算案

理事長より2017年度の間接決算を踏まえて2018年度の予算計画の説明で、収入合計5,780千円(新規加盟費460千円・年会費5,320千円)支出合計5,780千円(大会補助費4,270千円・事務局運営費1,050千円)積立金460千円の予算案の説明があり承認された。

○資料2-4：マスターズ甲子園実行委員会2018年度予算案

理事長より2017年度の間接決算を踏まえて2018年度の予算計画の説明で、収入合計21,743,165円(前年度繰越金予定含む・共催・協賛・広告・寄付・助成金等前年同様の計画)支出合計21,680,000円(球場費・大会運営費・事務局費等)次期繰越金63,165円の説明と、現状の各協賛社等への継続要請と新規協賛社への働きかけを行っていく事の説明をして承認された。

3. 議題3、2020シ年以降のリーズ計画案について

○資料3-1：全国高校野球OBクラブ連合情報

○資料3-2：2020年以降シリーズ（案）

理事長より資料3-1・3-2の資料を土台として現在の加盟状況の説明で、現在、申請枠申請リーグが27で、理事会、事務局で把握している予選リーグ設立準備府県が14府県あり合計41枠が近いうちに必要になる事の説明をして、現状の2年シリーズ（32枠）の開催が極めて難しいと判断出来るので2年シリーズは最後と説明した。この現状を踏まえて前回総会以降から継続審議としていた3年シリーズの具体的な説明と、又、通年出場を望むリーグがあると共に、モチベーション維持の観点からブロック大会の開催とブロック代表枠での出場の説明を行った。補足として議長より今までの理事会での議論内容の中で2年シリーズを継続をするのであれば、現在の試合時間1時間30分を1時間10分とする案も議論したが、時間短縮はどうかという意見もあり、又、3日間開催とする案は、甲子園球場、ボランティアの手配、予算等を考えると、現状では無理があるのではないかとの意見で、現段階での方向性は3年シリーズとの事で説明をした。

*質疑応答

○岩手県菊地様より、ブロック大会の開催に於いて北海道は距離があるとのこと意見。

議長より10回大会のトーナメント大会は現状のブロックで区分けして大会を開催しており、その後、都道府県、加盟校が増加をしているので、現在、理事会、実行委員会でブロックの細分化を検討している事を説明。

○徳島県浅山様より、3年シリーズだと6年間で考えると最大4年間の不出場の可能性があるので、2年シリーズを希望するとのこと意見。

理事長より本日決定するのではなく、来年の総会にて決定する為の話し合いと説明。

鹿児島県村崎様より、2020年以降のシリーズ案は議案事項ではなく、確認事項であるとのこと意見。

議長より、今後シリーズ体制は理事会を通して各都道府県にご意見を再度伺い、次回総会にて承認して頂く事として、継続審議として承認された。

4. 議題4、次期（2018-2019）理事選出案について

○資料4-1：役員・理事選出案

理事長より定款第18条による理事の任期により、資料4-1の資料の通り、定款第15条、細則第3章に基づいて各ブロックより選出して頂いた表記理事の説明をした。

*質疑応答

○鹿児島県水谷様より、理事の体制についての質問で、情報の共有の必要性がある

ので各都道府県での課題を共有して、解決をして行く体制作りをしてはとのご意見。

理事長より理事会の充実を図り、前向きな体制作りを行う事をお話して承認された。

5. 議題5、その他

○ワールドマスターズゲーム2017、オークランド大会の結果報告

理事長より5月に開催されたオークランド大会に参加されたマスターズ甲子園大会事務局と徳島県選手の混成チーム、マスターズジャパンの結果(銅メダル獲得)と大会内容の報告があり、引き続き徳島県の中川様からの大会の報告があり、理事長より2021年に関西で開催される次期大会への運営協力と選手派遣の説明があり承認した。

*総括質疑応答

○鹿児島県村崎様より、総会での決算報告が中間報告であり、定款第51条では事業報告及び決算報告は総会に報告しなければならないとあるので、最終決算報告をするべきではないかとの質問。

理事長より、現状では本総会では大会の諸経費の入出金が終了しておらず中間報告しか出来ない事をご理解頂き、定款上の決算期は毎年1月1日～12月31日となっているが、最終収支決算終了後、収支報告書が確定次第、直ちに各加盟校に郵送にて報告させて頂いており、今後の報告課題としてご理解して頂きたいと説明してご理解頂いた。

○徳島県浅山様より、2020年以降のシリーズは3年シリーズ、2年シリーズの案の選択権は無いのかとの質問。

○議長より次回総会で決定しないといけない事案であり、各都道府県の意見を集約するのは難しいが、各ブロックの意見を理事が再度集約して理事会に持ち込み総会にて決定させたいと説明する。

○徳島県浅山様より、総会に意見を出せない、決定事項の報告だけではおかしいし、多数決も出来ないのかとの意見。

○愛媛県北村様より、理事会で決まるのでは多数決の必要性は無いのではないかと、筋道が見えないと厳しいとの意見。

○埼玉県野澤様より、総会の本来のあり方が不明であり、理事会の内容を各都道府県で共有出来て無いのではないかと、報告が無いとの意見。

○東京都酒井様より、多数決で決定する議案でないし理事会での決議を認める。運営体制を理解して運営の実現可能な意見を出すべきで、報告はして頂いているとの意見。

○議長より、情報を共有出来るブロック体制を作る必要があると、理事長は早急に体制作り着手する事を説明した。

○埼玉県野澤様より、賛成、反対ではない、シリーズについての状況を説明する機会を作る必要があるとの意見。

○徳島県浅山様より、運営、裏方の重要性は理解していて、話し合いが出来る組織運営を構築して頂きたい事と、運営が可能ならば2年シリーズで開催して貰いたいとの意見。

○理事長より、1時間10分で全員が出場するのは難しい、モチベーションを保つために3年シリーズの開催の必要性を再度検討して各リーグに説明して理解を頂くことを行うと説明した。

○議長より、今までのご意見に対して、各都道府県の状況を理事が把握する必要性があるので、各ブロックの理事が各ブロックへの情報提供、収集等を今後も継続的に行う事をお話してご理解頂き承認された。

○マスターズ甲子園2018-2019シリーズ申請枠確定抽選会

○マスターズ甲子園2018大会の組み合わせ抽選会を行い下記の通り決定し承認された。

第1日目（土曜日）

第2日目（日曜日）

第1試合 熊本県代表 対 福島県代表

第1試合 愛知県代表 対 愛媛県代表

第2試合 神奈川県代表 対 富山県代表

第2試合 東京都代表 対 福岡県代表

第3試合 広島県代表 対 三重県代表

第3試合 長野県代表 対 奈良県代表

第4試合 北海道代表 対 沖縄県代表

第4試合 和歌山県代表 対 徳島県代表

尚、2018年の抽選に入らなかった、埼玉県・大阪府・兵庫県・鹿児島県・宮崎県・岩手県と2019年申請の、群馬県・鳥取県・岐阜県・島根県・宮城県の11リーグは2019年に出場決定する事を承認された。

以上を以って議案の審議が終了したので議長は全議案の承認を出席者に確認し終了を宣言し、理事長の閉会の挨拶の後、16時22分に散会した。

尚、議事の経過並びに結果を明らかにするために、議長である高山が本議事録を作成し及び総会出席者2名と計3名の署名押印をする。

平成29年11月24日

議事録作成者 高山伸紀（神奈川県）



議事録署名人 酒井宏志（東京都）



議事録署名人 岩見強志（広島県）

